

## 第1回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 会長挨拶

この度、第1回日本小児耳鼻咽喉科学会を担当させて頂くことになり、大変光栄に存じます。

本会は学会としては第1回目ですが、前身の日本小児耳鼻咽喉科研究会の歴史は古く、初回は堀口申作会長のもと昭和54年12月に開催されました。以後年2回の頻度で開かれ、昨年12月には第53回を数えております。研究会時代には、毎回テーマを設定しテーマに関連した演題募集を行ってききましたが、年1回開催の学会となりましたので、特にテーマを限定せず小児耳鼻咽喉科学全域を取り上げることに致しました。

シンポジウムでは、日本耳鼻咽喉科学会前理事長である小松崎篤先生（東京医科歯科大学名誉教授）に司会をお願いし、小児耳鼻咽喉科学の将来について展望したいと考えています。この中で、本学会理事長の市村恵一先生（自治医科大学教授）に基調講演をお願いしております。

パネルディスカッションでは、本学会の特徴である耳鼻咽喉科と小児科の両分野が関わる疾患、具体的には扁桃炎、中耳炎を取り上げました。司会は、八木聰明先生（日本医科大学教授）をお願いしております。各科の考え方や治療法について論議を交わすことにより、双方の理解が深まればと期待しています。

臨床講演として小児気道異物と小児耳鼻咽喉科領域の出血性疾患、ランチョンセミナーで中耳炎の治療と気管支喘息からみた鼻・副鼻腔炎についてわかりやすく解説していただく予定です。

本会の開催時期は、平成18年6月30日（金）～7月1日（土）で、会場は奈良公園内の奈良県新公会堂です。東大寺や、興福寺、春日大社などが至近距離に点在し、鹿がそこかしこにたわむれる絶好のロケーションとなっております。本学会のキャッチフレーズは『古の都奈良で小児耳鼻咽喉科学の未来を語る』です。大いに議論したあとは、いにしえの香りただよふ奈良でのひとときをお楽しみ下さい。

第1回開催という光栄に浴し、教室員一同鋭意準備を進めております。耳鼻咽喉科、小児科の多くの先生方のご参加を心からお待ち申し上げます。

第1回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会  
会長 細井 裕司  
(奈良県立医科大学耳鼻咽喉科学教室 教授)